
AOL アシスタント ご利用ガイド



目次

AOLアシスタントとは	3
制限事項	3
インストールと起動	4
操作の流れ	6
エクスポートとインポート	7
エクスポート	8
インポート	11
インポートされた項目の確認	17
こんなときは	19

AOL アシスタントとは

AOLアシスタントは、AOL 接続ソフト(AOL6.0/7.0 for Windows)で使っていたアドレス帳、メール、とっておきのリストのデータを Outlook Express (Windows メール) や Internet Explorer に移行するためのユーティリティソフトです。AOL 接続ソフトを利用しない使い方を始める場合などに、AOL 接続ソフトの今までのデータを引き継いでご利用いただけます。

AOLアシスタントの操作は、**エクスポート**と**インポート**の2つのステップに分かれます。

エクスポート	インポート
アドレス帳、メールデータ、とっておきのリストのデータを取り出して、インポート用のデータ(エクスポートファイル)として保存します。	エクスポートしたインポート用のデータ(エクスポートファイル)を Outlook Express や Internet Explorer に取り込んで設定します。

移行するデータは、次の Windows 付属ソフトに自動的に取り込まれます。また、必要に応じてテキストファイル(XML)に保存することもできます。

エクスポート元 (移行元ソフト)	エクスポートするデータ	インポート先 (移行先ソフト)
● AOL 接続ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ● アドレス帳 ● メールデータ ● メールアカウント (スクリーンネーム) 	<ul style="list-style-type: none"> ● Outlook Express ● Windows メール (Windows Vista のみ) ● テキストデータ (XML)
	<ul style="list-style-type: none"> ● とっておきのリスト 	<ul style="list-style-type: none"> ● Internet Explorer ● テキストデータ (XML)



対応している Windows は :

- AOL アシスタントは、次の Windows に対応しています。
Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista

対応している AOL 接続ソフトは :

- AOL6.0/7.0 for Windows に対応しています。

AOL 接続ソフトをアンインストールする場合は :

- AOL アシスタントでデータを移行するときは、パソコン内に AOL 接続ソフトが残っている必要があります。AOL 接続ソフトをアンインストールする前に AOL アシスタントをご利用ください。

制限事項

AOL アシスタントを使ってデータを移行する際には、次のような制限があります。あらかじめご了承ください。

- 添付ファイルのファイル名が全角 (2 バイト文字) の場合、文字化けすることがあります。
- 添付されているテキストファイルの内容が全角 (2 バイト文字) の場合、文字化けすることがあります。(文字コードを UTF-8 にすると解決する場合があります。)
- 大量のメールの移行には、時間がかかります。
- AOL アシスタントが対応していない特殊な文字 (ヨーロッパ系言語の特殊なアルファベットなど) が含まれているメールや、不正なデータを含むと判断されたメールは、自動的にスキップされて移行されません。
- AOL 接続ソフトでダウンロードしたメールの添付ファイルは、ダウンロード時に保存された場所から移動・削除したり、ファイル名を変更したりしていた場合は、正しくインポートされません。

インストールと起動

AOLアシスタントを、パソコンにインストールして起動します。(以下の画面例はWindows XPですが、ほかのWindowsの場合も同様です。)

✓ CHECK

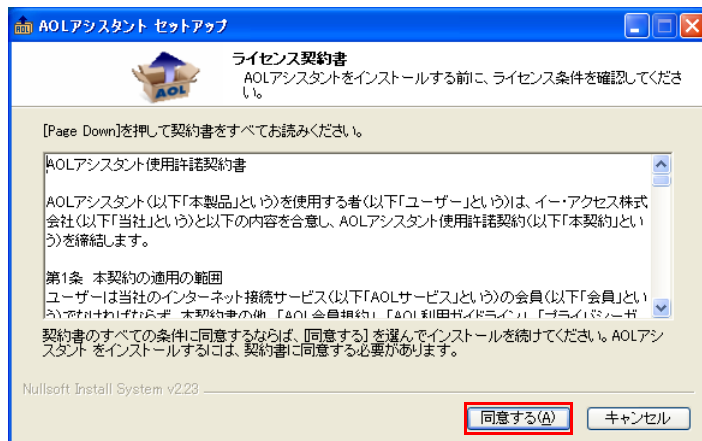
「認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています。」と表示されたら：

- 操作中に、このようなメッセージ画面が表示されたときは、[許可 このプログラムを信用します] をクリックしてください。

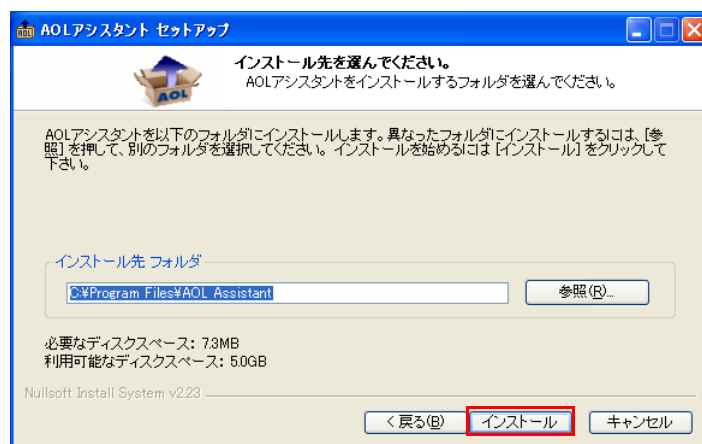
1 インストーラ (AOLAssistantInstaller.exe) をダブルクリックする。



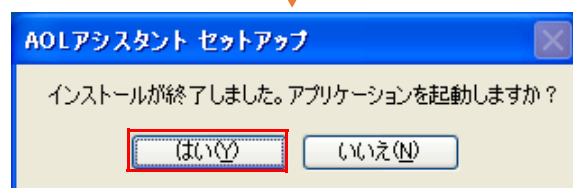
2 [同意する] をクリックする。



3 [インストール] をクリックする。



4 インストール後、起動するときは【はい】をクリックする。



✓ CHECK

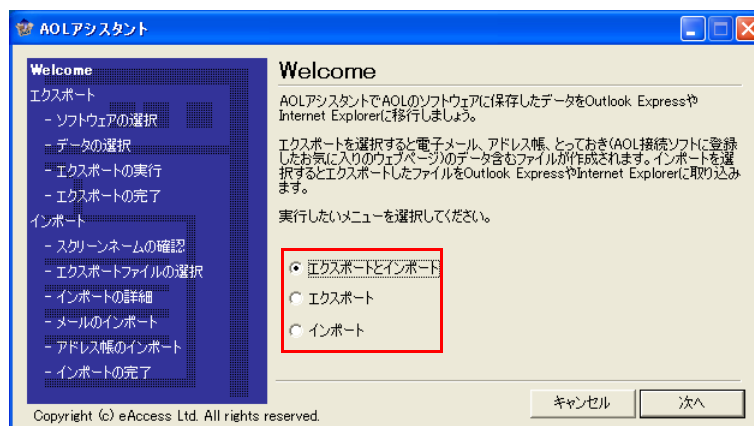
手順4で【いいえ】をクリックすると：

- AOLアシスタントを起動しないで、インストールが終了します。AOLアシスタントを起動するには、デスクトップのショートカットアイコンをクリックするか、[スタート] ⇒ [すべてのプログラム] ⇒ [AOLアシスタント] の順に選択してください。



5 AOLアシスタントが起動したら実行したいメニューを選択する。

- P.7 「エクスポートとインポート」
- P.8 「エクスポート」
- P.11 「インポート」



✓ CHECK

AOLアシスタントのアンインストールについて：

- インポートまたはエクスポートとインポートの処理が完了すると、アンインストールの確認画面が表示されます。詳しくは、「インポート」の手順10 (P.15) を参照してください。

操作の流れ

AOLアシスタントをインストール後、起動すると次の画面が表示されます。この画面では、3つの処理を選択できます。



■ エクスポートとインポート

Windows XPからWindows Vistaにアップグレードした場合など、同じパソコン上で、エクスポートからインポートまでの一連の処理を続けて実行します。

■ エクスポート

別のパソコンに移行する場合に、移行元のパソコンのデータをインポート用のファイル(エクスポートファイル)として保存します。

■ インポート

エクスポートしたデータを、移行先のパソコン上でOutlook Express、Windowsメール (Windows Vistaのみ)、Internet Explorerに取り込みます。

✓ CHECK

インポートするときは：

- 別のパソコンでエクスポートとインポートを別々に実行したときは、エクスポートしたインポート用のデータ (エクスポートファイル) を、インポート先のパソコンに移動 (またはコピー) してください。

エクスポートとインポート

Windows XP から Windows Vista にアップグレードした場合など、1台のパソコン上でエクスポートからインポートまでの処理を続けて実行したいときは、**エクスポートとインポート**を選択します。

✓ CHECK

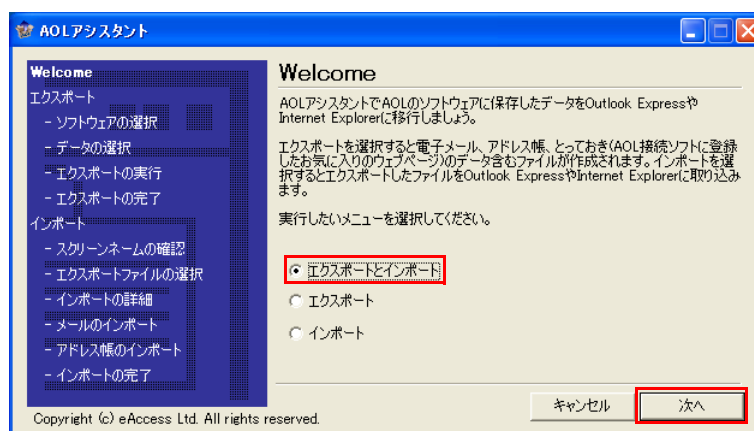
AOLアシスタントを起動するには：

- インストール後 [はい] をクリックします。すでにインストール済みの場合は、デスクトップのショートカットアイコンをクリックするか、[スタート] ⇒ [すべてのプログラム] ⇒ [AOLアシスタント] の順に選択します。

エクスポートとインポートをする前に：

- エクスポートとインポートを実行する前に、**AOL接続ソフトを終了**する必要があります。

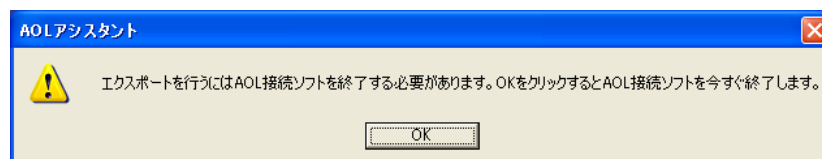
- 1 AOLアシスタントの起動画面で、エクスポートとインポートを選択して [次へ] をクリックする。**



✓ CHECK

AOL接続ソフトが起動しているとき：

- データをエクスポートするときにAOL接続ソフトが起動していると、次のような終了の確認画面が表示されます。[OK] をクリックすると、AOL接続ソフトが自動的に終了してから次の手順に進みます。



- 2 画面の指示に従って、エクスポートとインポートを実行する。**

エクスポートとインポートが続けて実行されます。画面の指示に従って操作してください。エクスポートとインポートの操作については、それぞれ以下の説明をご覧ください。

- **P.8 「エクスポート」**
- **P.11 「インポート」**

エクスポート

別のパソコンに移行する場合などに、移行元のパソコンのデータをインポート用のデータ（エクスポートファイル）に書き出します。（以下の画面例はWindows XPですが、ほかのWindowsの場合も同様です。）

✓ CHECK

AOL アシスタントを起動するには：

- インストール後 [はい] をクリックします。すでにインストール済みの場合は、デスクトップのショートカットアイコンをクリックするか、[スタート] ⇒ [すべてのプログラム] ⇒ [AOL アシスタント] の順に選択します。

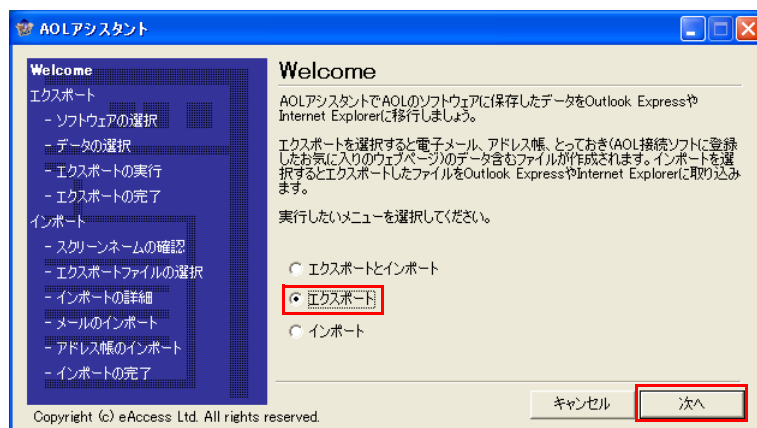
エクスポートする前に：

- エクスポートを実行する前に、AOL 接続ソフトを終了する必要があります。

エクスポート時の注意点について：

- エクスポート中は、できるだけ他のソフトを起動しないでください。

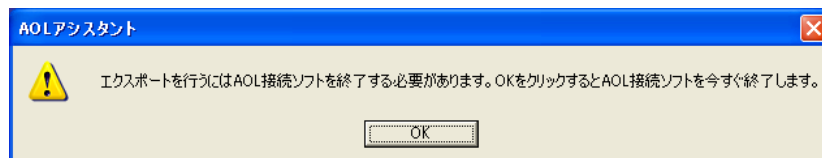
1 AOL アシスタントの起動画面で、エクスポートを選択して [次へ] をクリックする。



✓ CHECK

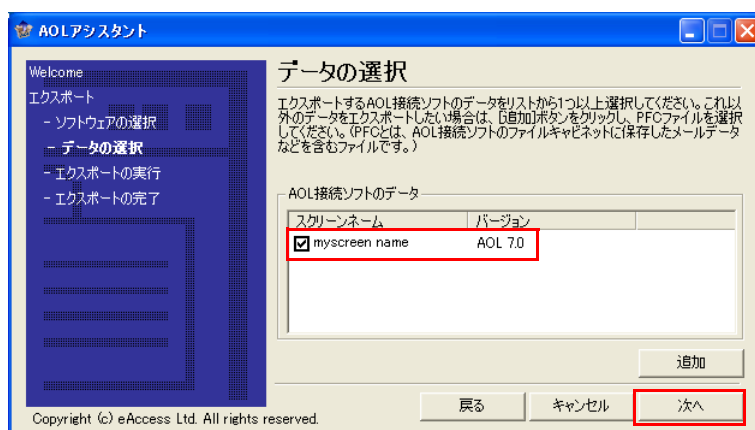
AOL 接続ソフトが起動していると：

- データをエクスポートするときにAOL 接続ソフトが起動していると、次のような終了の確認画面が表示されます。[OK] をクリックすると、AOL 接続ソフトが自動的に終了してしてから次の手順に進みます。



2 エクスポートするデータのスクリーンネームと AOL 接続ソフトのバージョンを確認して、[次へ] をクリックする。

AOL 接続ソフトのデータが自動的に検出されて選択されます。



✓ CHECK

スクリーンネームは忘れずに：

- ここでエクスポートしたデータのスクリーンネームをインポートするときに、入力します。スクリーンネームが一致しないとインポートはできないのでご注意ください。
- 複数のスクリーンネームのデータ（PFC ファイル）があるときは、検出されたすべてのスクリーンネームとデータが表示されます。移行したいすべてのデータのスクリーンネームにチェックを入れてください。

データを追加するには：

- 検出されたファイル以外にエクスポートしたいファイル（PFC ファイル）がある場合は、[追加] をクリックしてファイルを指定します。

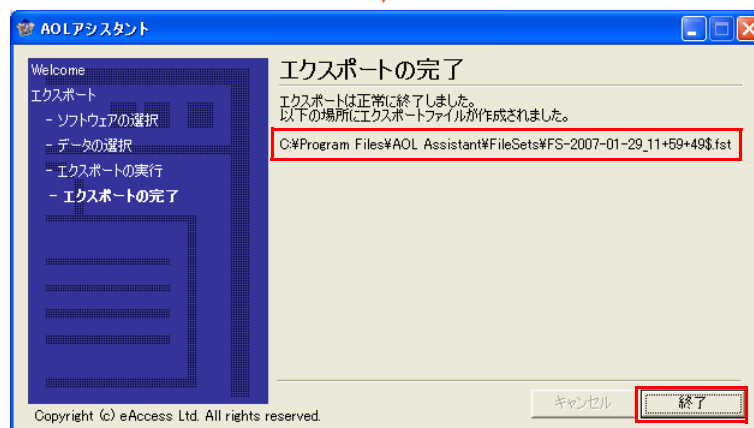
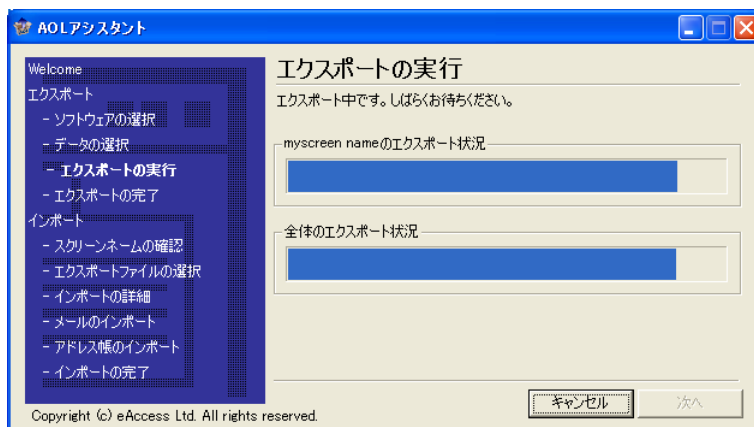
AOL 接続ソフトのデータ（PFC ファイル）について：

- AOL 接続ソフトのデータ（PFC ファイル）は、初期状態では、「c:¥Program Files¥AOL 7.0（または6.0）¥organize」に「スクリーンネーム」のファイル名（拡張子なし）で保存されます。AOL アシスタントは、エクスポート時にこのフォルダ内の PFC ファイルを検索します。

データを選択・解除するには：

- 選択するときは、チェックボックスをクリックしてチェックを付けます。選択を解除するときは、チェックボックスをクリックしてチェックを外します。

- 3** エクスポートデータの保存場所とファイル名を確認してから **【終了】** をクリックする。
エクスポート中は、進行状況が表示されます。エクスポートが完了すると、エクスポートデータの保存場所とファイル名が表示されます。



✓ CHECK

エクスポートファイルの保存場所は：

- 初期状態では、「**C:\Program Files\AOL Assistant\FileSets**」に保存されます。

エクスポートファイルの名前は：

- 「**FS-西暦-月-日-時+分\$.fst**」の形式で、ファイルの作成日時がファイル名になります。

「エクスポートとインポート」を実行したときは：

- **P.7 「エクスポートとインポート」** を実行したときは、この画面で **【次へ】** をクリックすると、**P.11 「インポート」** に進みます。

インポート

エクスポートしたデータを、移行先のパソコン上で Outlook Express、Windows メール（Windows Vista のみ）、Internet Explorerに取り込みます。（以下の画面例は Windows Vista ですが、ほかの Windows の場合も同様です。）

✓ CHECK

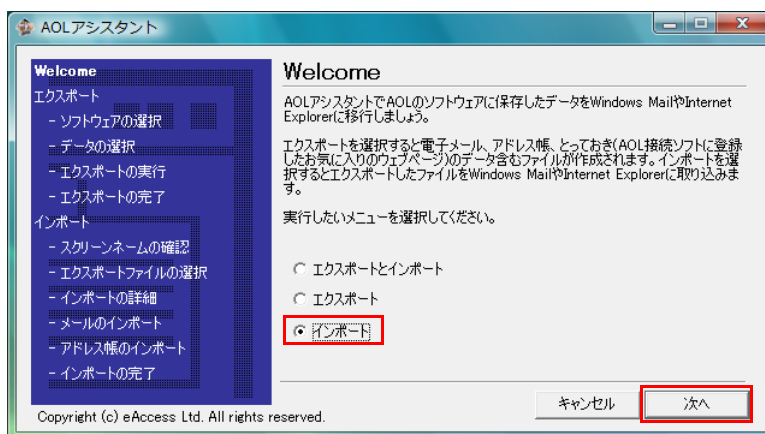
インポート用のファイル（エクスポートファイル）について：

- エクスポートしたインポート用のデータ（エクスポートファイル）を、CDに書き込むなどしてインポート先（移行先）のパソコンにコピーしてから、インポートを実行してください。エクスポートファイルは、初期状態では、「c:¥Program Files¥AOL Assistant¥FileSets」に「FS-西暦-月-日-時+分\$.fst」のファイル名で保存されます。

インポート時の注意点について：

- インポート中は、できるだけ他のソフトを起動しないでください。
- インポートの前に、Windows メールまたは Outlook Express を終了してください。Windows メールまたは Outlook Express が起動しているとデータをインポートできないため、エラー画面が表示されます。
- インポートの前に、パソコンをインターネットに接続してください。インポートの手順中、スクリーンネームとパスワードを入力すると、AOL アシスタントがサーバに接続します。このときにインターネットに接続できないとスクリーンネームを確認できないためにエラー画面が表示されます。

- 1 パソコンをインターネットに接続して、Windows メール（または Outlook Express）を終了する。
- 2 AOL アシスタントの起動画面で、**インポート**を選択して [次へ] をクリックする。



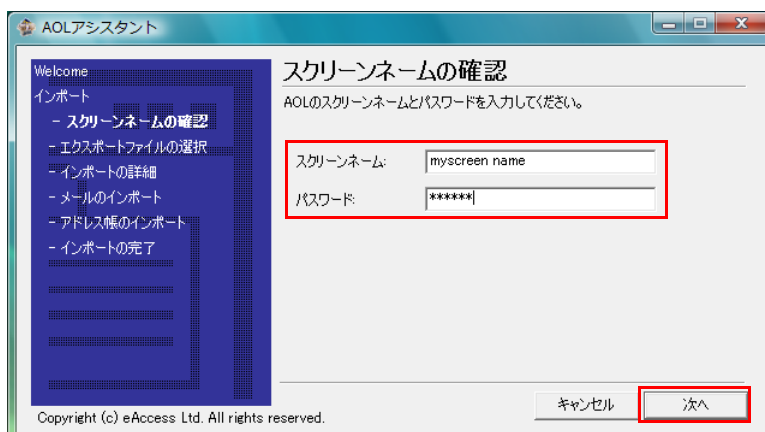
✓ CHECK

AOL アシスタントを起動するには：

- インストール後 [はい] をクリックします。すでにインストール済みの場合は、デスクトップのショートカットアイコンをクリックするか、[スタート] ⇒ [すべてのプログラム] ⇒ [AOL アシスタント] の順に選択します。

3 スクリーンネームとパスワードを入力して、[次へ] をクリックする。

エクスポートファイルには、スクリーンネームの情報が保存されています（P.8 「エクスポート」の手順2）。インポートするデータのスクリーンネームとパスワードを入力して認証をします。



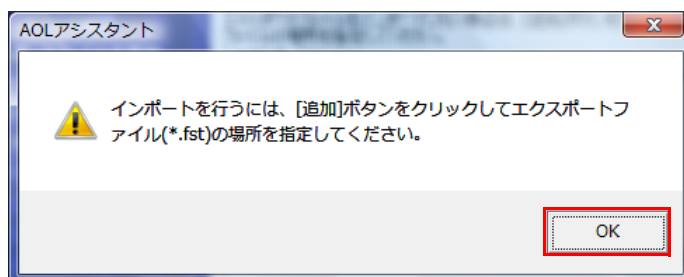
✓ CHECK

複数のスクリーンネームのデータをエクスポートした場合は：

- 一度のインポートでは、この画面で入力したスクリーンネームのデータのみが移行されます。複数のスクリーンネームのデータを移行する場合は、各スクリーンネームごとにインポートを繰り返してください。メールデータは、Outlook Express（Windows メール）に、スクリーンネームごとのフォルダとして移行されます。

4 [OK] をクリックする。

AOL アシスタントのフォルダ（c:\Program Files\AOL Assistant\FileSets）がない場合、または、そのフォルダ内にエクスポートファイルがない場合は、次の画面が表示されます。

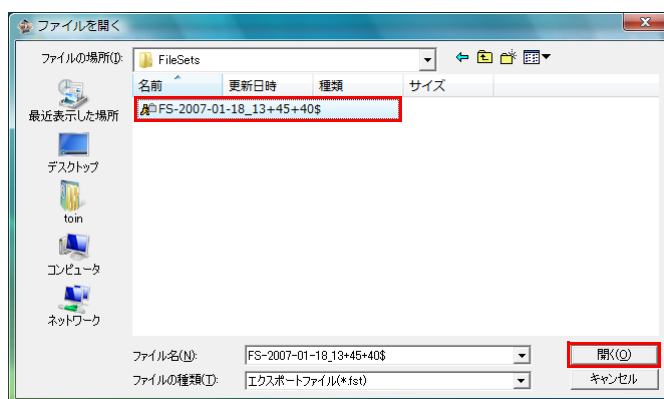
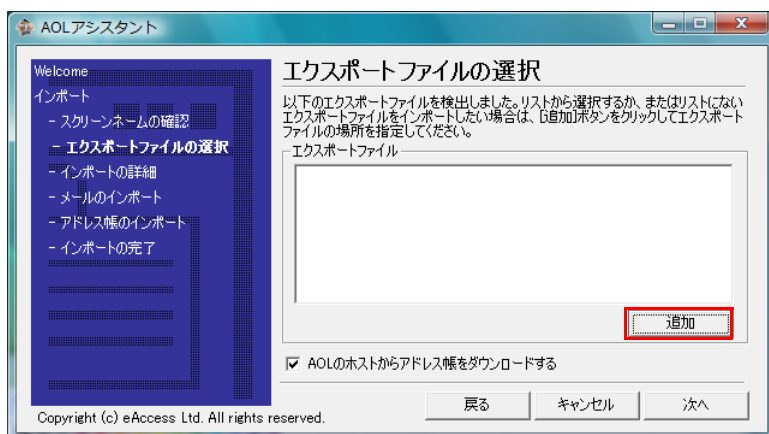


✓ CHECK

同じパソコン上でエクスポートをした場合は：

- 同一パソコン上で「エクスポート」または「エクスポートとインポート」を実行した場合は、エクスポートファイルが検出されるため、この画面は表示されません。

- 5** [追加] をクリックして、インポート用のファイル（エクスポートファイル）を選択する。
[追加] をクリックすると、インポート用のファイル（エクスポートファイル）を指定します。

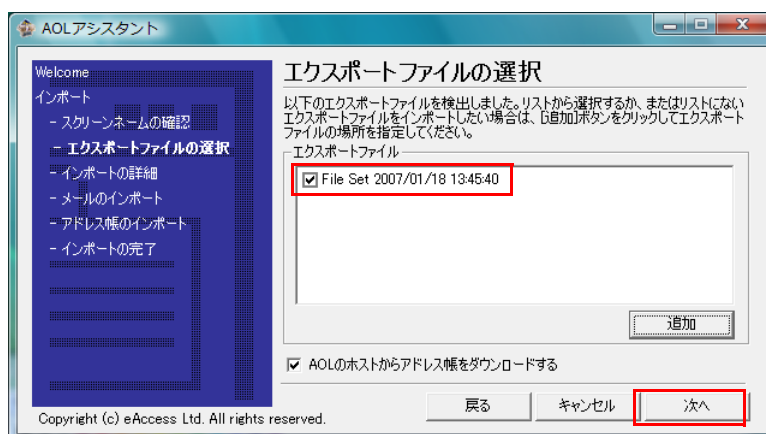


✓ CHECK

AOLのホストからアドレス帳をダウンロードする：

- 初期状態では、画面下のAOLのホストからアドレス帳をダウンロードするにチェックが付いています。通常は、チェックを付けたままにしてください。AOLのサーバにあるアドレス帳のデータをダウンロードしてエクスポートファイルに追加します。

- 6** インポートするデータを確認して、[次へ] をクリックする。



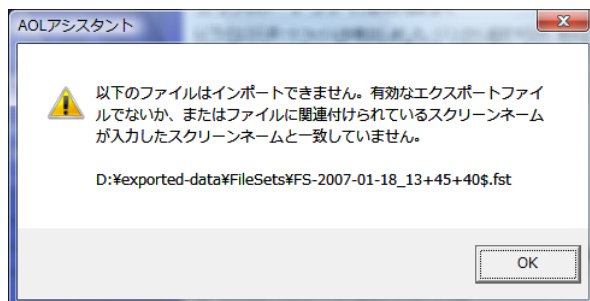


データを選択・解除するには：

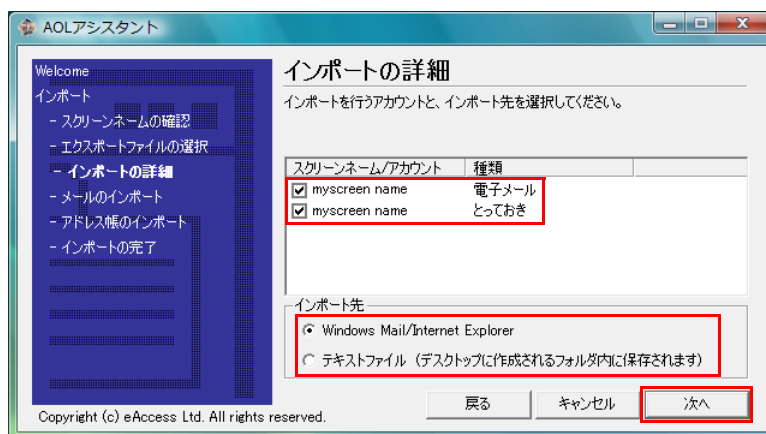
- 選択するときは、チェックボックスをクリックしてチェックを付けます。選択を解除するときは、チェックボックスをクリックしてチェックを外します。

インポートできない場合やスクリーンネームが異なる場合は：

- 指定したファイルがインポートできない場合や、**手順3**で入力したスクリーンネームと異なる場合は、次の画面が表示されます。エクスポート時に別のスクリーンネームを選択した可能性があるため、もう一度正しいスクリーンネームのデータをエクスポートしてください。



- 7** インポートするデータの種類とインポート先を確認して、**[次へ]** をクリックする。
データの**種類**欄でインポートするデータ（**電子メール**または**とっておき**）を選択することもできます。



「インポート先」について：

- 初期状態では**Windows Mail / Internet Explorer**が選択されています（Windows Vista 以外では、**Outlook Express / Internet Explorer**）。
- **テキストファイル（デスクトップに作成されるフォルダ内に保存されます）**を選択すると、デスクトップにスクリーンネーム名のフォルダが作成され、その中の「スクリーンネーム名.txt」に、エクスポートファイルのデータが保存されます。この場合、Windows メール（またはOutlook Express）やInternet Explorerにはインポートされません。

8 [はい] をクリックする。

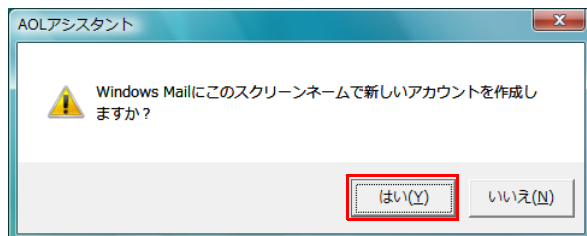
[はい] をクリックすると、Windows メール（またはOutlook Express）に、メールアカウントが追加されます。

Windows Vistaの場合：

受信メールサーバー名がアカウント名としてWindows メールに登録されます。

その他のWindowsの場合：

スクリーンネームがアカウント名としてOutlook Expressに登録されます。

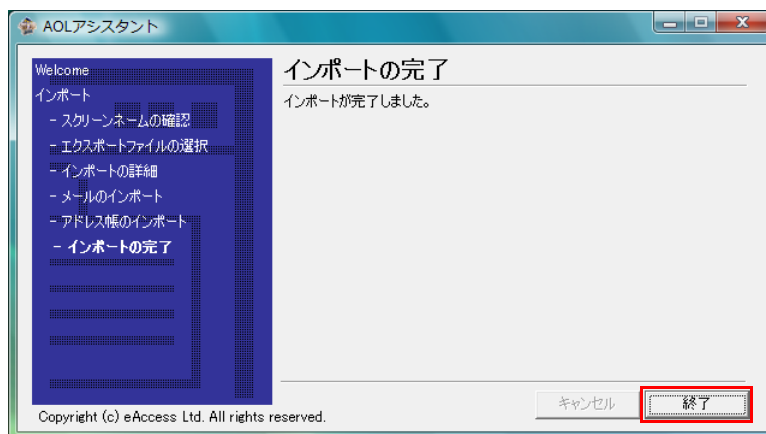


✓ CHECK

手順8で [いいえ] をクリックすると：

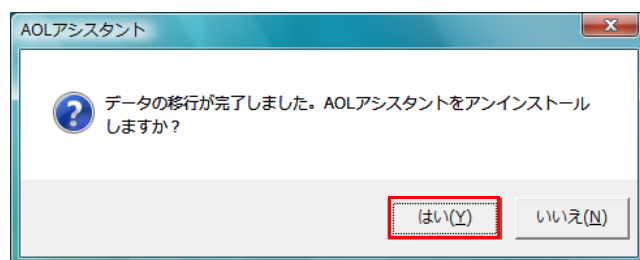
- アカウントは追加されずに、メールのデータのみがインポートされます。

9 [終了] をクリックする。



10 AOLアシスタントをアンインストールするときは [はい] をクリックする。

あとで再度データを移行したい場合は、[いいえ] をクリックしてください。



✓ CHECK

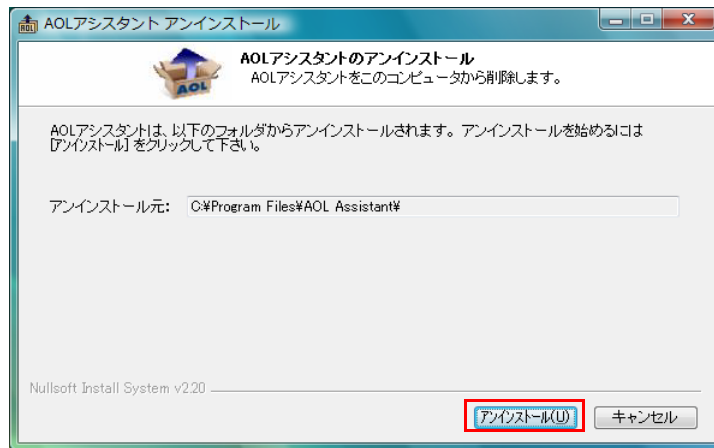
複数のスクリーンネームのデータをインポートする場合は：

- 複数のスクリーンネームのデータをインポートする場合は、ここで [いいえ] を選択し、**手順 2 (P.11) ~ 手順 9 (P.15)** を繰り返してください。

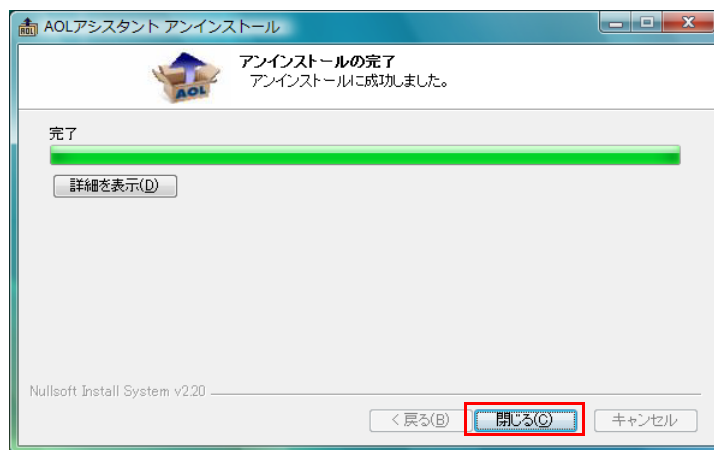
手順10で [いいえ] をクリックすると：

- アンインストールをしないで、AOL アシスタントが終了します。あとで AOL アシスタントをアンインストールしたいときは、コントロールパネルから「プログラムのアンインストール」（または「プログラムの追加と削除」）で「AOL アシスタント」を選択してください。

11 [アンインストール] をクリックする。



12 アンインストールが完了したら [閉じる] をクリックする。



✓ CHECK

インポートとアンインストールが終わったら：

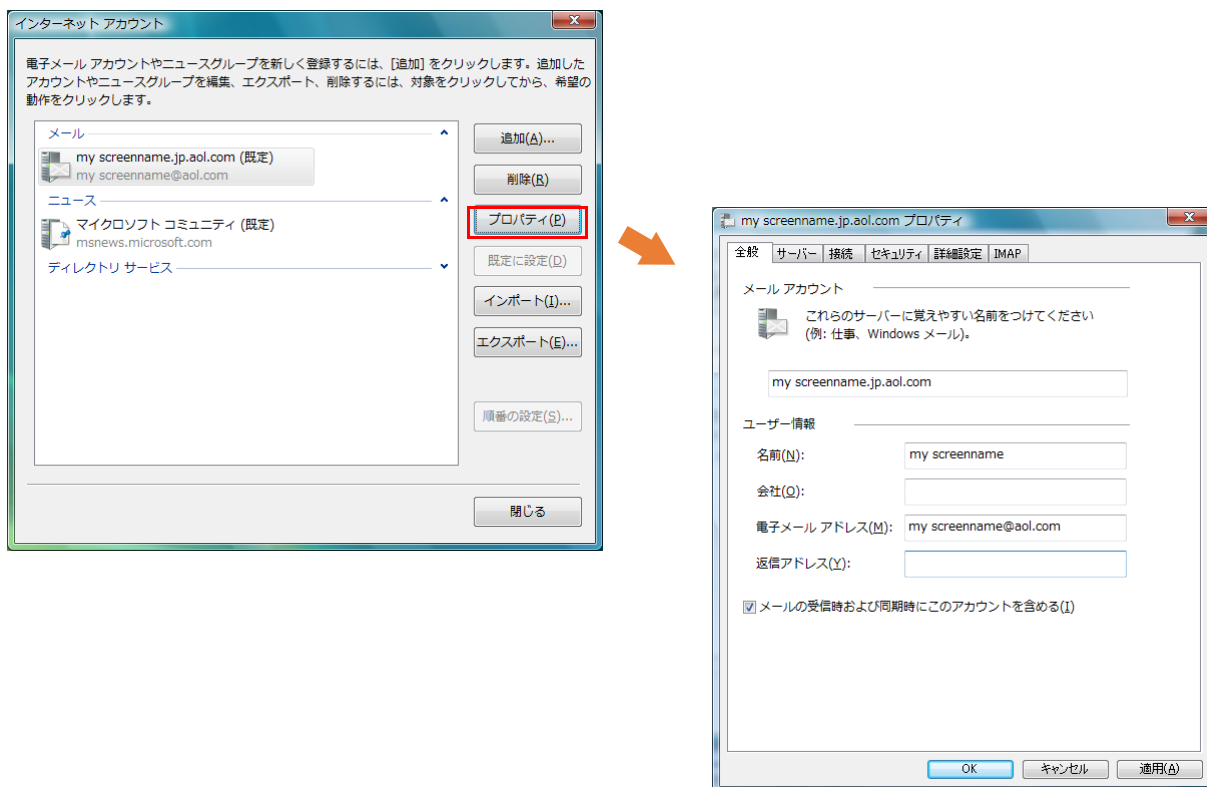
- インポートとアンインストールが終わったら、パソコンを再起動することをおすすめします。

インポートされた項目の確認

インポートが完了すると、移行先のパソコンのWindowsメール（またはOutlook Express）、Internet Explorerに、AOL 接続ソフトのデータが取り込まれます。正しくインポートされていることを確認してください。（以下の画面例はWindows Vistaです。）

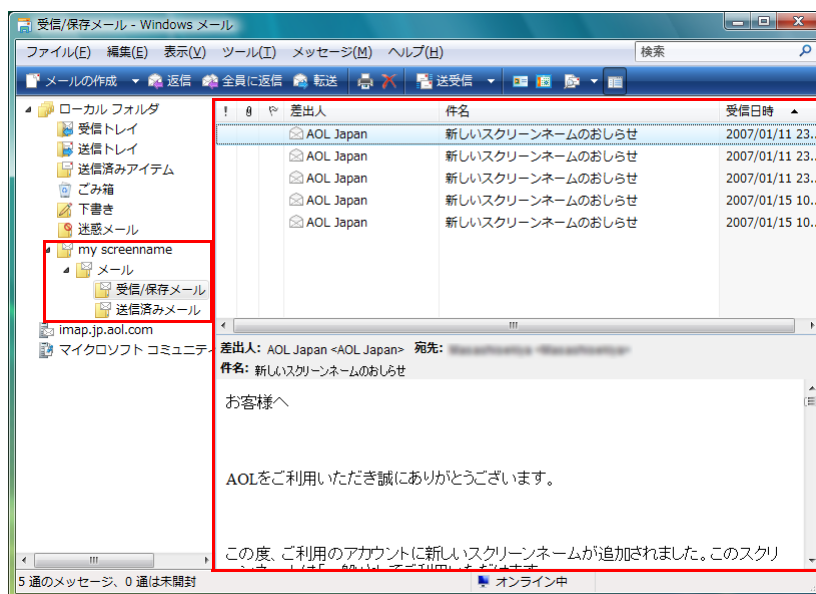
■ インポートされたメールアカウントの例

スクリーンネームがWindowsメール（またはOutlook Express）にインポートされてメールアカウントとして登録されます。



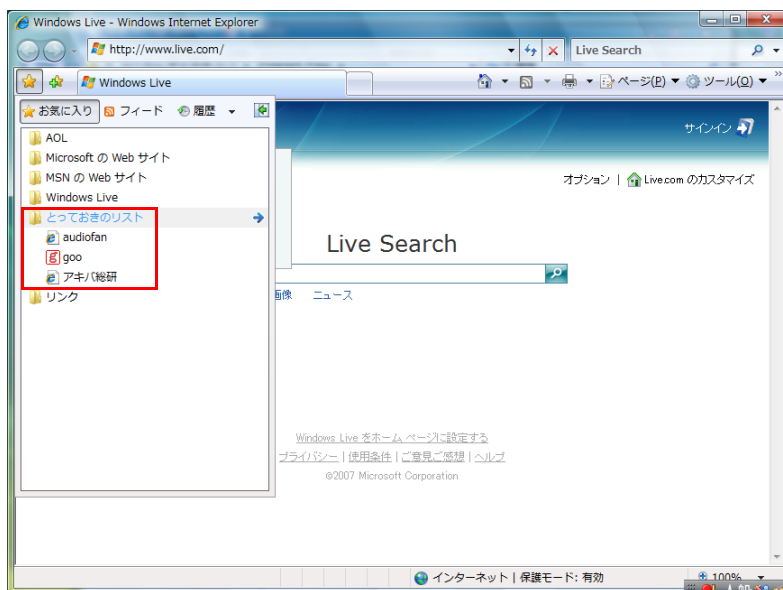
■ インポートされたメールデータの例

ローカルフォルダの下にスクリーンネーム名でフォルダが作成されてメールデータが保存されます。



■ インポートされた「とっておきのリスト」の例

Internet Explorerの「お気に入り」に、「とっておきのリスト」フォルダが作成されて、「とっておきのリスト」に登録していた内容が保存されます。



アドレス帳について：

- AOLで使用していたアドレス帳の内容も、Windowsメール（またはOutlook Express）のアドレス帳に自動的に登録されます。なお、AOL 接続ソフトのアドレス帳の各項目と Windows メール（または Outlook Express）にインポートされた各項目は、正しく対応しないことがあります。必要に応じて修正してください。

こんなときは

- Q** インポートをするときに、「インポート先」でテキストファイルを選択すると、メールの添付ファイルはどうなりますか？
- A** デスクトップに作成されたスクリーンネーム名のフォルダの中に「スクリーンネーム名_attachments」というフォルダが作成されます。添付ファイルは、この「スクリーンネーム名_attachments」内に、テキストファイルとは別のファイルとして保存されます。
- Q** インポートでテキストファイル（XML）に保存しましたが、XMLファイルとは何ですか？ テキストファイルではないのですか？
- A** XML（Extensible Markup Language）は、HTMLのように「タグ」で項目を区切って記述したファイルです。HTMLと違ってタグを自由に定義でき、データベースなどに取り込むときに便利な汎用フォーマットです。メモ帳などのテキストエディタで開いて、編集することができます。
- Q** Windows 2000 にインポートしたメールの件名が、Outlook Express のプレビューウィンドウで「□」で表示されます。
- A** Windows 2000 の場合は、メールの件名の全角（2バイト）文字は、プレビューウィンドウでは「□」で表示されることがあります。ご了承ください。
- Q** エラーメッセージは表示されずに正常にインポートが完了しましたが、Outlook Express（またはWindows メール）にデータが移行されていません。
- A** Outlook Express の [ファイル] メニューから [ユーザー] ⇒ [ユーザーの管理] を選択して、登録されているユーザーを調べ、別のユーザーにインポートされていないか確認してください。
- Q** インポートしたアドレス帳の項目が、Windows メール（またはOutlook Express）の項目と正しく対応しないで、ずれているものがあります。
- A** AOL 接続ソフトのアドレス帳の項目とWindows メール（またはOutlook Express）にインポートされた項目は、正しく対応しないことがあります。必要に応じて修正してください。
- Q** インポートの際に、スクリーンネームとパスワードを入力して [次へ] をクリックしたら、「インポートを行うにはインターネットに接続する必要があります。接続を確認してからもう一度実行してください。」と表示されました。インターネットの接続を確認しましたが、解決しません。

A お使いのパソコンがLANに接続されている場合は、エラーになったパソコン上で次のどちらかの設定をしてください。

- 正しい**デフォルト ゲートウェイ**のアドレスを手動で設定してください。(設定方法は、Windowsの種類によって異なります。現在のパソコンのIPアドレスやデフォルトゲートウェイを確認するには、コマンドプロンプト画面で「ipconfig」と入力して [Enter] キーを押してください。) 例えば、Windows XP の場合では、コントロールパネルの「ネットワーク接続」で、「インターネット プロトコル (TCP/IP) のプロパティ」⇒「TCP/IP 詳細設定」―「IP 設定」タブで設定します。(Windows Me/98 の場合は、「ネットワーク」⇒「TCP/IP のプロパティ」の「ゲートウェイ」タブで設定します。) 設定後は、パソコンを再起動してください。
- LAN 内に DHCP サーバ (ルータなど) がある場合は、DHCP サーバの設定で、正しいデフォルトゲートウェイの IP アドレスと使用可能な IP アドレスの範囲を構成します。

Q 添付ファイルがインポートされていません。

A 次の点をご確認ください。

- 添付ファイルがオンラインメールボックスに保存されている場合は、インポートの前に、AOL 接続ソフトで添付ファイルをサーバからダウンロードしてから、エクスポートをしてください。
- AOL 接続ソフトでダウンロードした添付ファイルは、ダウンロード時に保存した場所から移動・削除したり、ファイル名を変更したりしていた場合は、正しくインポートされません。

Q インポートするときに、エクスポートファイルの検出中にAOLアシスタントが動かなくなってしまう。

A 自動検出されたエクスポートファイルのサイズが大きいときは、エクスポートファイルを検証するのに時間がかかるため、AOLアシスタントが止まってしまったように見えることがあります。そのまま、しばらくお待ちください。

Q Windows Vistaでエクスポートしたデータは、どこに保存されますか？

A Windows Vistaでエクスポートしたデータ(エクスポートファイル)は、「C:¥users¥[user name]¥AppData¥Local¥Virtual Store¥Program Files¥AOL Assistant¥FileSets¥」に保存されます。このフォルダを確認してみてください。またエクスプローラで「C:¥Program Files¥AOL Assistant¥」を表示して、「互換性ファイルの表示」をクリックしても確認することができます。



イー・アクセス株式会社 AOLメンバーサポートセンター <http://support.aol.co.jp/>